

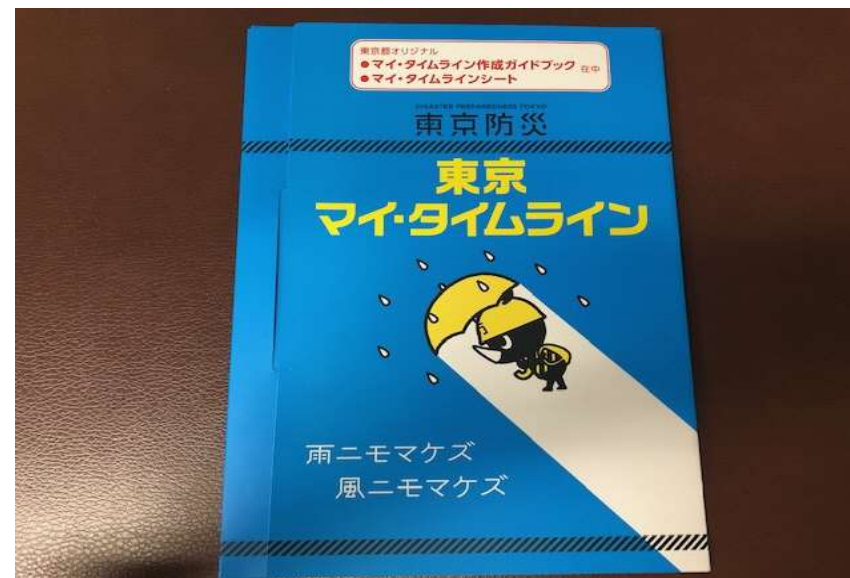
講習会の実施

立川市

地域防災訓練での講習会の好評に伴い、令和2年2月16日に市主催の東京マイ・タイムライン講習会を開催予定。避難に必要な防災気象情報を正しく理解し、自らの環境や地域の特性に合った避難行動をとれるよう、市民へ「東京マイ・タイムライン」の活用を促していく。



地域防災訓練(R1.10.6)での講習会の様子



東京マイ・タイムライン

水防訓練の充実

昭島市

○東京消防庁立川消防署・昭島消防署・昭島市・立川市・国立市と合同で、
水防訓練を実施



水防演習の充実

小平市

大型で非常に強い台風が接近し、市内複数箇所で道路冠水や家屋への浸水被害が発生したことを想定し、市、消防署、消防団、防火女性の会、自治会などが連携し、浸水現場からの救出訓練、道路啓開、基本的な土のう工法等の訓練を実施した。



○訓練の見学だけでなく、土のう積みなど実践的な訓練メニューを体験



新たな情報ツールとしてのスマートフォンアプリの開発

東村山市

- 平常時には気象情報や防災情報を発信するプッシュ型の情報ツール
- 災害時には上記に加え住民から被害状況を収集するプル型の情報ツール

安全安心のための情報ツール

東村山市公式アプリ 東村山防災 navi

自助

自分や家族

- 家具の固定、住まいの耐震化
- 飲料水、非常食の備蓄 など

共助

隣近所、地域の防災組織、災害ボランティア、事業者など

- 防災訓練の実施
- 地域に住む要配慮者に対する支援 など

防災のキーワード、それは... 「自助」「共助」「公助」 正確な「情報」です。

公助

市区町村、都道府県、国、消防、警察、自衛隊など

- 防災対策の推進
- 自助、共助に対する支援 など

災害時の正確な情報の把握に 東村山防災 navi の活用をオススメします。

平常時

- 防災に関する情報を受け取ることができます。
気象注意報や防災行政無線の放送内容などの情報をお手持ちの端末に通知します。
- 防災関係施設の場所が確認できます。
避難所や土のうステーションなどの場所を確認できるほか、ナビゲーション機能も利用できます。

災害時

- 危険をあらかじめ察知することができます。
情報は地図上に蓄積されていくので、お住まいの地域の危険箇所が分かります。
安全な避難経路確保につながります!!
- 身の回りの災害情報を発信できます。
災害の情報を位置情報付写真で投稿できます。*
- 市内の災害情報を確認できます。
投稿された災害情報はインターネット上の地図に公開されるので、誰でも確認できます。
いち早い自主避難行動につながります!!

多くの皆さんにご利用頂き、多くの情報を共有することで災害による被害を最小限に食い止めることにつながります。災害への備えにぜひご登録ください。

東村山防災navi 平常時

●住民へのプッシュ型情報ツール



東村山防災navi 災害時



東村山市 環境安全部 防災安全課

ダウンロードはこちらから! スマートフォン、タブレット端末 どちらでも利用可能

QRコードからアクセス!

東村山防災 naviのご利用は無料です!
(※LINE、Twitter 連携は別途がかかります)

Android: Google Play

iOS: App Store

関係機関と連携した水防訓練の実施

国分寺市

- 令和元年5月26日に消防署と合同で関係機関と連携し水防訓練を実施。
- 土のうの作成やマンホールの噴出防止工法等，風水害時を想定した実践的な訓練を実施。



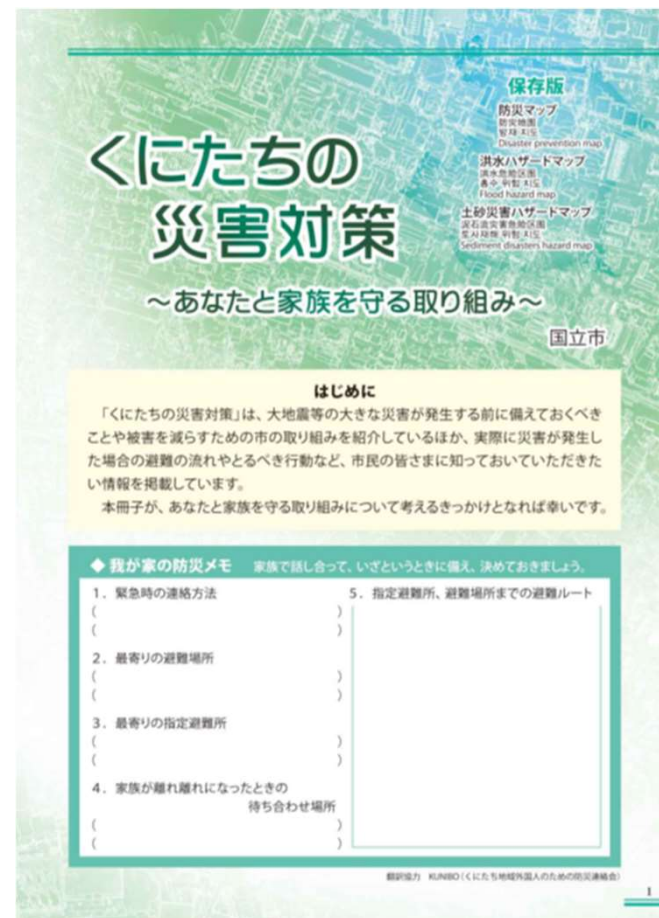
防災情報ブック(くにたちの災害対策)を作成

国立市

平成30年度末に防災情報ブックの更新を行い、市内全戸配布を行いました。
説明会や出前講座も随時依頼があれば行っています。



平成22年2月編集発行



平成31年3月編集発行

水防訓練の実施

東大和市

○毎年行っている水防訓練を6月10日に実施。

○3月15日に指定された土砂災害警戒区域での災害を想定に、迅速かつ的確な情報発信を意識した訓練を実施。

○ドローンを活用した訓練を実施。



避難所運営協議会の拡充

清瀬市

数年かけて避難所である市内小中学校14校全てへの避難所運営協議会の設置が完了した。また、水防訓練、防災訓練での避難所運営を通して課題を洗い出し、議論を深めている。



洪水ハザードマップの更新・周知

東久留米市

○東京都発表の落合川・黒目川流域の浸水予想区域図改訂にあわせて、東久留米市洪水ハザードマップの改訂をする予定。
水害の際に役立つ情報を住民の方にわかりやすく掲載するなど地図面以外の改良も行う。



今年度の変更予定点

- ・改訂版東京都の浸水予想区域図
- ・警戒レベルの表示
- ・目印となる建物表示

H30年度ハザードマップ

土砂災害ハザードマップ等説明会

武蔵村山市

平成31年3月に指定された、土砂災害警戒区域情報を基に、令和元年7月に土砂災害ハザードマップを作成した。
また、指定された地域を3つに分け、マップを3種類作成し、該当地域の住民に対して、説明会を実施した。説明会の実施にあたり、消防団によるチラシの配布、市報による広報を行った。

令和元年7月に作成した土砂災害ハザードマップを使用して
当該区域周辺に住んでいる住民に対して、3回に分け説明
会を実施した。土砂災害についての説明とともに、警戒レ
ベル及び「東京マイタイムライン」について、周知活動を行
った。

The collage contains several key sections:

- 土砂災害とは** (What are landslides?): Explains the danger of landslides and the importance of hazard maps.
- 土砂災害警戒区域 (建物・イエローゾーン)** (Yellow Zone): Describes the area where landslides are likely to occur, and the need for caution.
- 土砂災害警戒区域 (建物・レッドゾーン)** (Red Zone): Describes the area where landslides are highly likely, and the need for immediate evacuation.
- 避難情報の種類・発令の目安** (Types of evacuation information and criteria): A table listing evacuation levels (Level 1 to Level 5) and their corresponding actions.
- 避難のの流れ** (Evacuation flow): A diagram showing the steps from receiving information to evacuation.
- 避難時の注意** (Evacuation precautions): A list of important points to remember during evacuation.
- 情報の収集方法** (Information collection methods): A diagram showing various ways to receive information, such as through mobile phones, TV, and community centers.